



NO.1356

3月6日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
区四三二四四五八
F四三二四四五七

令和4年度 予算案から

網走市議会第1回定例会が3月2日に開会し、22日まで行なわれます。

市長から市政執行、教育長から教育行政執行が示され、令和4年度の予算も提案されました。

予算については、予算審査特別委員会を設置して、11日から18日まで審査を行います。

その内容には、昨年の予算で削除した給食調理場の集約化、新電力会社設立、日体大高等支援学校へ新たな支援の予算など、議論が必要な予算もあります。しっかりと内容を確認し、市民の疑問に答えられるよう、他会派の議員と協力しながら取り組みます。

中間処理の広域化検討 処分場整備検討に 1389万円

廃棄物の中間処理の広域化と新たな最終処分場の整備に向けた検討を行います。

他にコンポスト購入費助成に70万円、ごみ処理理解促進に200万円、ごみ出しガイドブックの作成に290万円となっています。

計画破綻の原因を検証し、分かりやすい分別方法、市民の協力を得ることが大切です。広域化は、市民には、伝わってさえいません。

地域新電力設立に 1040万円

脱炭素を図るため、再生可能エネルギーを活用した電力の地産地消に取り組む地域新電力会社の設立を目指します。しかし、

事業計画示さずに予算を通す 前代未聞の事態！

新聞報道によると、設立会社は道外の企業、事業計画の詳細は新会社が4月以降に発表となっています。これが本当なら新電力会社設立事業の事業計画を示さずに議会で予算を通す前代未聞の事態です。

給食調理場集約に

1億4550万円

学校給食を継続して安定的に供給できるよう、給食調理場を集約すると言いますが、

調理員の待遇改善が 退職者を生まない解決策

正職員と会計年度任用職員の賃金格差が大きすぎ、あまりにも不平等です。調理場の集約では解決できません！

日体大高等支援学校に 6100万円

日体大高等支援学校が行う生徒確保対策の経費の一部の支援に5200万円、入学費用支援に600万円、教育環境整備に300万円となっています。

これまで多額の支援がされています。 私立の支援学校の生徒確保になぜ市民の税金が使われるのか、市民の理解は得られるのでしょうか。

コロナ感染者 拡大

網走市内のコロナ感染者は先週、障がい者施設(73名)や医療施設(19名)などでクラスターが発生しました。また、小学校でも感染が確認され、1週間で106名となりました。

市は抗原定量検査などを大規模に行い、感染拡大防止を図っています。

全国では高齢者が重症化しており、さらに検査体制を強化すべきです。

網走市の感染者数

2/20～2/26	106名
2/13～2/19	30名
2/6～2/12	42名
1/30～2/5	38名
1/23～1/29	56名
1/16～1/22	70名
1/9～1/15	9名
合計	351名

流氷

北京五輪が閉幕しました。コロナ禍、人権問題、ドーピング騒動、不可解な規定や採点と、選手たちを苦しめ、何だかモヤモヤとした気持ちが残ったのは私だけではないと思います。それでも、夏季に比べて冬季は地元北海道の、それも北見だ、厚岸だ、帯広だと、なじみのある地名から、勝手にご近所感覚で、より応援にも力が入りました。▼何年か前に常呂のカーリング場に体験に行ったときには、氷の上を歩くのでさえ大変で、見るのとやるのとでは大違いと知り、知った一日でした。スピードスケートでは、網走の夏合宿の間、毎日自転車の列を見かけ、宿泊先でバツタリ高木選手に会った時には、思わず「応援してます！」と声がけ。▼そんな娘や息子世代の選手たち、諦めずに挑戦する姿勢、国を越えてたたえ合う姿には胸を熱くしました。今後の大会には、スポーツの原則を踏まえて、公正さを取り戻し、誰もが笑顔で「ナイス」と言えるようなものになります。ことを願っています。

柿ピー子